

# からと まちづくりワークショップ

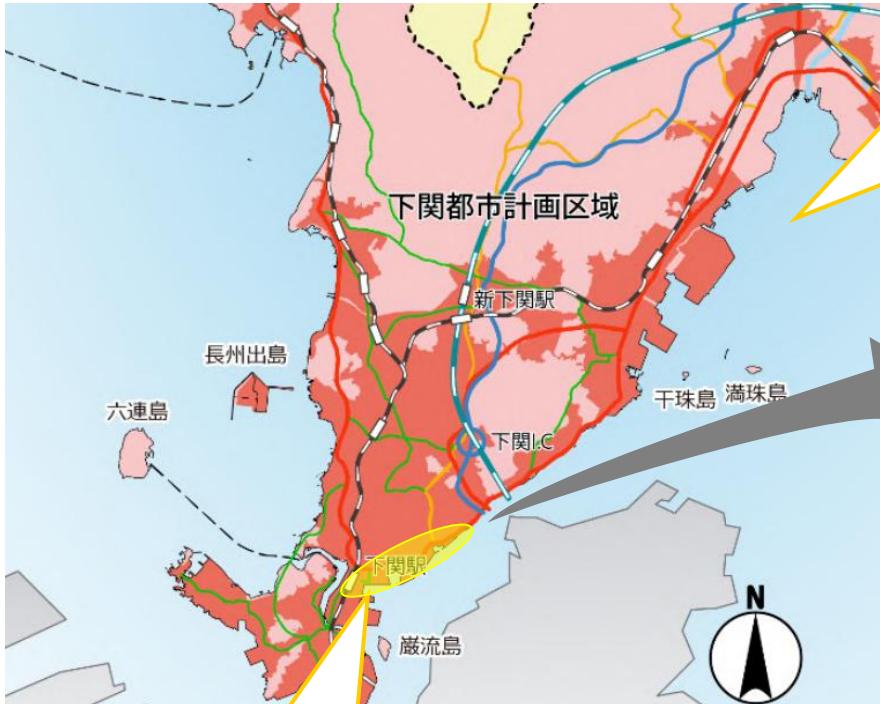
## ～地区の良いところと課題を共有しよう！～



12月7日(日)  
下関市勤労福祉会館 4階ホール

ステップ2:  
「からと」の現状やこれまでの取り組みについて

# 上位計画(総合計画・都市マスタープラン・立地適正化計画)



地図出典:下関市都市計画マスタープラン

下関駅から唐戸は、都市の中心として、**医療、福祉、商業施設といった生活に必要な都市機能**を誘導・集約し、効率的に提供することを目指すエリアに位置付けられる。  
(下関市立地適正化計画(R7.6))

ウォーターフロントとして、下関駅や国際フェリーターミナルから唐戸地区への水際線における回遊性の向上や、観光業や既存施設の利活用を通じて「みなとのにぎわいの創出」を目指している。

(第3次下関市総合計画(R7.3))



□ = 対象エリア

- 唐戸地区周辺は、快適で生活利便性が高い市街地を形成
- ウォーターフロントは、歴史・文化・観光資源を活かした観光ゾーンを開発
- にぎわい・回遊性のある都市空間を創出  
(下関市都市計画マスタープラン(R4.3))

# 関連計画(下関海峡エリアビジョン)

## あるかぽーと・唐戸エリアの将来イメージ(唐戸商店街)

市民

行政

「あるかぽーと・唐戸エリア」として、地域資源と観光コンテンツを活かし、様々な企業と連携して地域振興を図る。

(下関海峡エリアビジョン(R4.3))

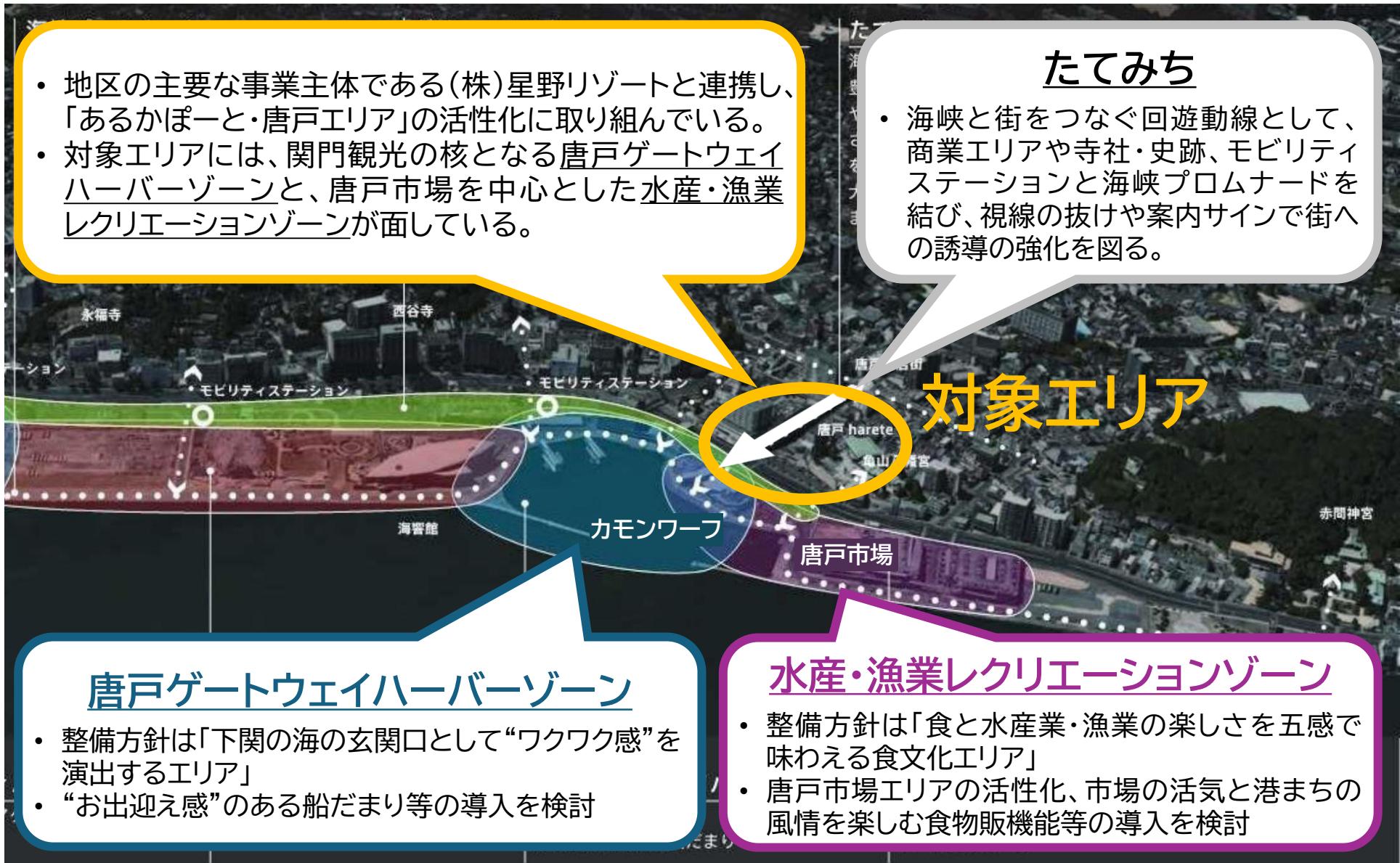


# 関連計画(あるかぽーと・唐戸エリアマスターplan)

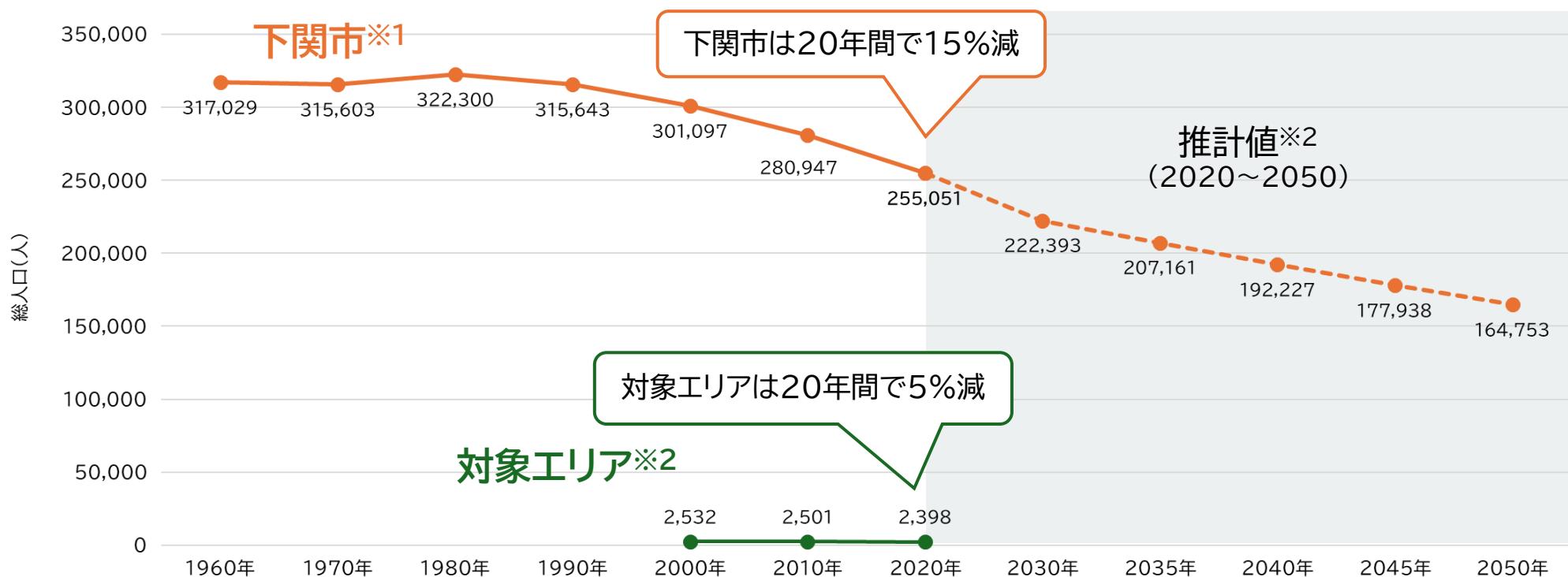
- ・地区の主要な事業主体である(株)星野リゾートと連携し、「あるかぽーと・唐戸エリア」の活性化に取り組んでいる。
  - ・対象エリアには、関門観光の核となる唐戸ゲートウェイハーバーゾーンと、唐戸市場を中心とした水産・漁業レクリエーションゾーンが面している。

## たてみち

- ・海峡と街をつなぐ回遊動線として、商業エリアや寺社・史跡、モビリティステーションと海峡プロムナードを結び、視線の抜けや案内サインで街への誘導の強化を図る。



# 人口



- 下関市※1は、1970年(昭和45年)～1980年(昭和55年)に一時的な人口増加が見られたが 1980年以降は減少傾向が続いている。2000年(平成12年)～2020年(令和2年)の20年間で人口は約15%減少した。
- 今後、下関市全体の人口はさらに減少が見込まれており、2020年～2050年の30年間で約35%減少し、164,753人になると予測される。※2
- 対象エリア※3では、2000年以降、人口の緩やかな減少傾向が続いている。

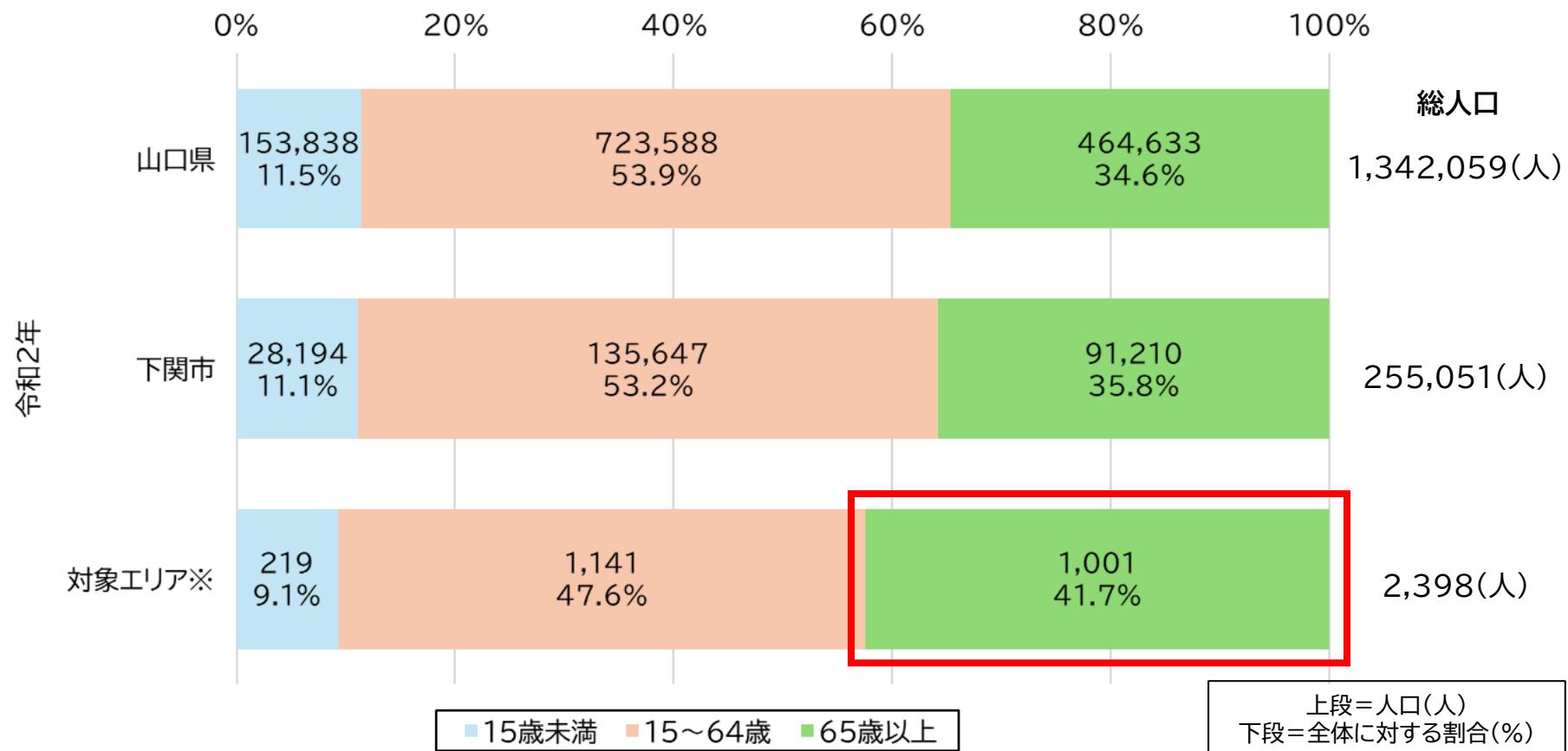
※1 平成17年以前は旧下関市、菊川町、豊田町、豊浦町、豊北町の合計

※2 国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計値

※3 対象エリア=田中町、唐戸町、赤間町、中之町、南部町の合計

データ出典:国勢調査(1960年～2020年)、社人研推計人口(2020年基準推計値:2030年～2050年)

# 年齢割合(2020年(令和2年))



- 対象エリアの高齢化率は41.7%で、山口県全体(34.6%)や下関市全体(35.8%)と比べても高い数値となっている。
- 対象エリアの特徴として、15～64歳(生産年齢人口)と65歳以上(高齢者人口)の割合に大きな差がなく、人口構成が高齢者に偏っていることが挙げられる。

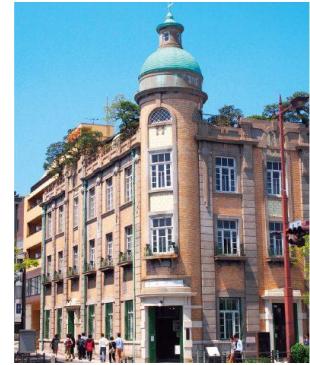
※対象エリア=田中町、唐戸町、赤間町、中之町、南部町の合計  
データ出典:国勢調査

# 唐戸周辺の観光地

## 下関・唐戸地区 (下関駅からバスで7分)



③下関南部町郵便局



④旧秋田商会ビル



⑤旧下関英國領事館



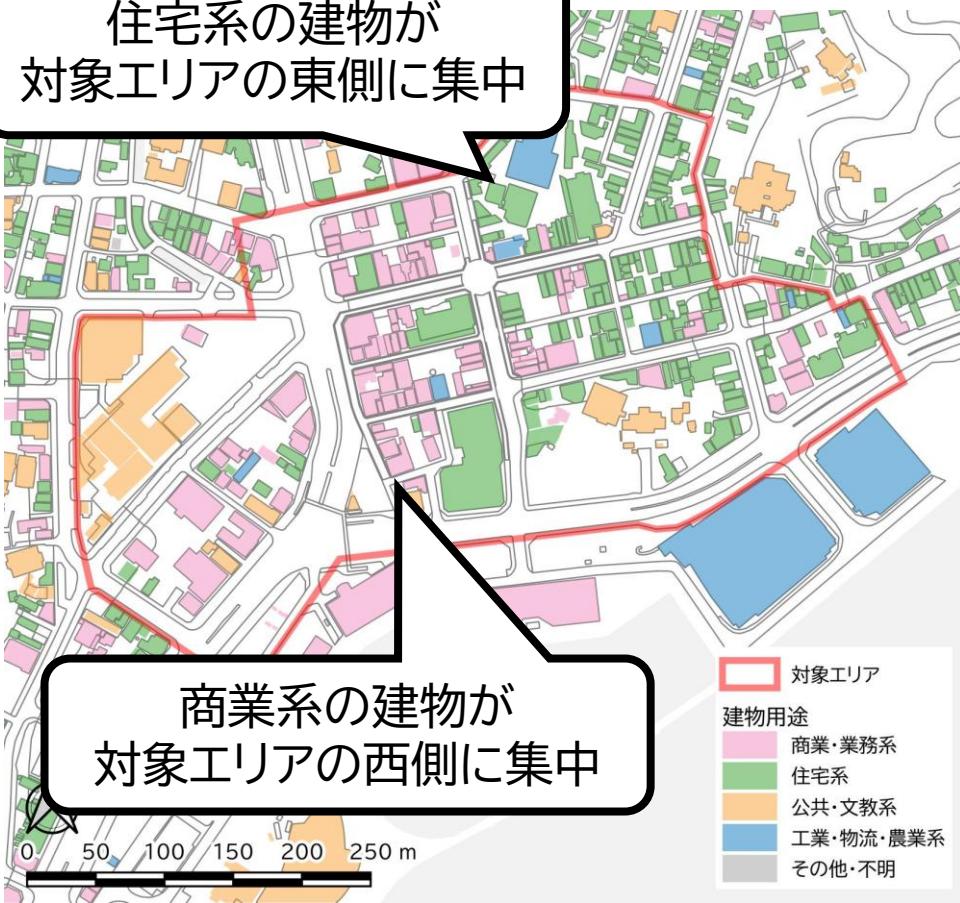
⑧亀山八幡宮

出典:関門海峡観光推進協議会(山口県・下関市・北九州市)  
『関門海峡・浪漫マップ 下関・唐戸地区』に加筆

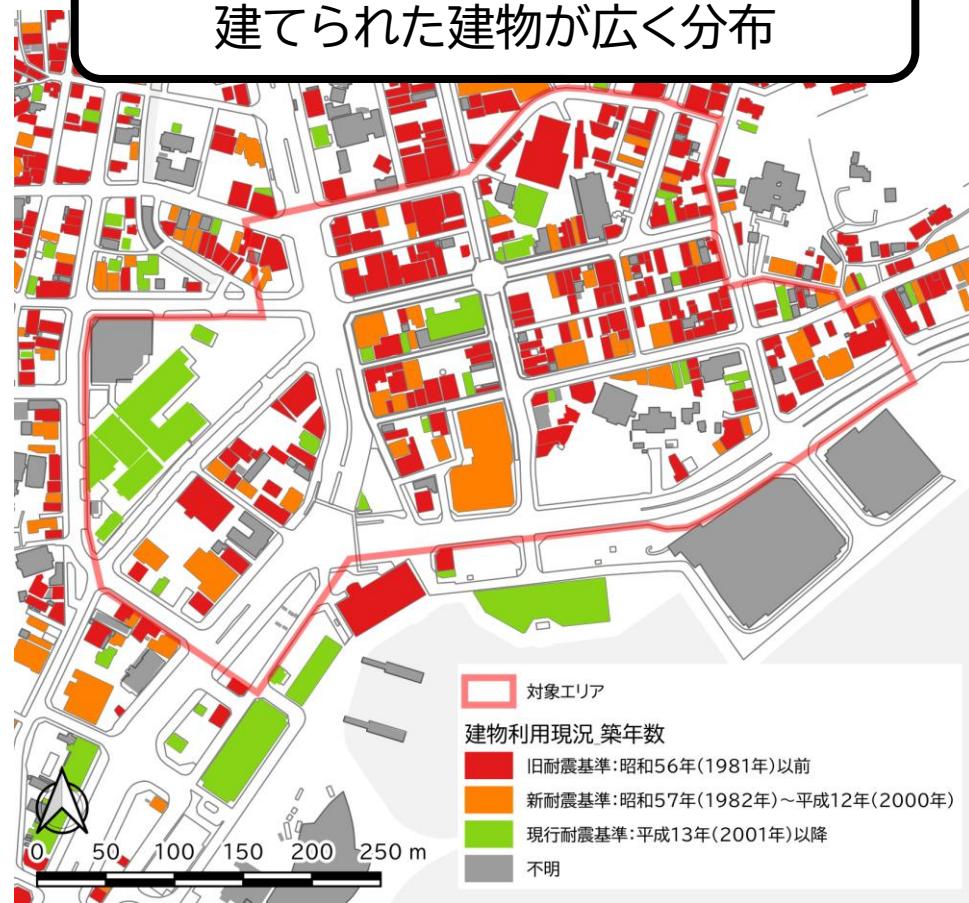
=対象エリア

# 建物の現況(用途及び建築年)

住宅系の建物が  
対象エリアの東側に集中



旧耐震基準(1981年以前の基準)で  
建てられた建物が広く分布



資料:令和4年度都市計画基礎調査 建物利用現況から作成

- 商業系の建物が多い(地域の約50%)。次いで住宅系の建物が多い(約35%)。※
- 旧耐震基準(1981年以前の基準)で建てられた建物が多い(約49%)  
(下関都市計画区域全体では約38%)。※

※延床面積より算出

# 歴史的背景

## 江戸時代

北前航路の寄港地として発展した



下関南部町郵便局(明治33年竣工)  
出典:日本郵政

## 明治時代

- 【1894年(明治27年)頃】 8か国の領事館が設置されたとともに  
外国商館や貿易会社、金融機関が進出
- 【1896年(明治29年)】 唐戸湾の埋め立てによってできた町を  
「唐戸町」として指定



英國領事館(明治39年竣工)  
出典:下関市HP

## 大正時代

- 【1924年(大正13年)】 阿弥陀寺町にあった魚市場が現在の地に  
移転し、「唐戸魚市場」として発足



唐戸魚市場  
出典:唐戸市場HP

## 昭和時代(戦前・戦時中)

- 【1938年(昭和13年)】 路面電車が下関駅～唐戸～東駅間で開通
- 【1945年(昭和20年)】 下関空襲で多くの焼夷弾が投下される

# 歴史的背景

## 昭和時代(戦後)

【1947年(昭和22年)  
～1955年(昭和30年)】

「戦後復興」として土地区画整理事業を実施  
※現在の区画割に

【1960年(昭和35年)頃】

唐戸地区の商店街が賑わう

【1986年(昭和61年)】

市街地再開発事業により「カラトピア」が竣工



カラトピア

出典:下関市HP

## 平成時代

【1992年(平成4年)】

市街地再開発事業により「カラトコア」が竣工

【2001年(平成13年)】

「海響館」「唐戸市場」がオープン

【2005年(平成17年)】

旧下関市と豊浦郡4町が合併、新「下関市」が誕生

【2013年(平成25年)】

「はい！からっと横丁」がオープン

【2019年(平成31年)】

あるかぽーと開発 優先交渉権者に星野リゾート選定



現在の唐戸商店街

出典:協同組合唐戸商店会HP

## 令和時代

【2025年(令和7年)8月】 「海響館」がリニューアルオープン

【2025年(令和7年)12月】 「リゾナーレ下関」がオープン



リゾナーレ下関

出典:星野リゾートHP

- 唐戸地区は、古くから海上交通と交易の要衝として栄え、近代以降は歴史的景観とウォーターフロントが共存するエリアとなる。

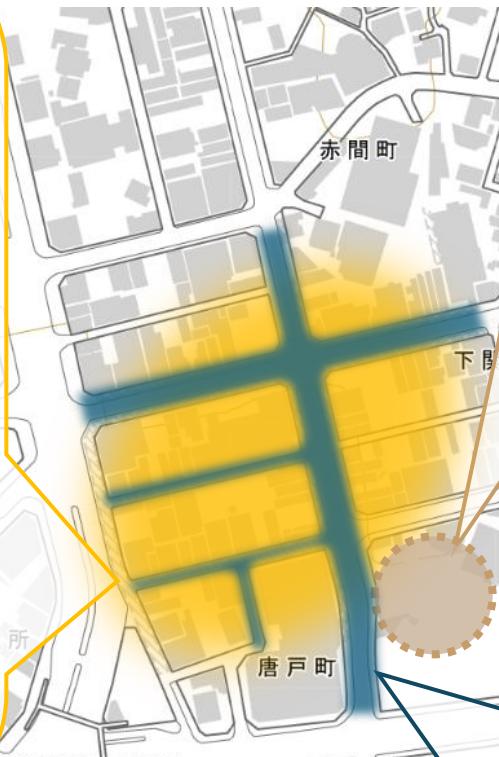
# 近年のまちづくりの動き

## 「一般社団法人からまち」

- ・からとエリアの各商店街の法人・通り会が一本化されたまちづくり組織
- ・人流データを活かしたマーケティング、チャレンジショップやアプリ開発、マップ制作などを通じ、商店街の再生に取り組む
- ・「ほこみち」を活用し、道路にベンチを設置するなど、空間づくりにも取り組んでいる
- ・中小企業庁「地域にかがやくわがまち商店街表彰2024」を受賞



出典:下関市HP



## 「唐戸はれて横丁」

- ・元衆議院議員の杉村太蔵氏が運営
- ・出店主への金銭面の支援や、経営者間の技術情報交流を促し、まちの活性化を図る
- ・2024年(令和6年)1月に19店舗によってグランドオープンした。



出典:Yahooニュース

## 「ほこみち」

- ・国交省の「ほこみち」事業を導入し、歩行者中心の滞留可能な空間づくりを図る。
- ・歩行空間を2.0m以上確保し、占用許可によって、団体がイベント開催や食事スペースとして活用できる。

そのほか、今後も事業等の実施が予定されている。

- ・市道唐戸町5号線の道路整備(たてみち)
- ・「唐戸市場」の大規模改修(2031年オープン予定)

本日使用した資料につきましては、ホームページで公開します。

※今後、ワークショップの状況や次回の予定なども随時更新していきます。

## ホームページ URL

<https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/75/140773.html>



## ワークショップに関する問い合わせ

下関市 都市整備部 市街地開発課 再開発係

〒750-8521 下関市南部町1番1号 本庁舎東棟3階

TEL : 083-224-2025 FAX : 083-224-2032

E-mail : [tsshigai@city.shimonoseki.yamaguchi.jp](mailto:tsshigai@city.shimonoseki.yamaguchi.jp)